8月7日 日曜日 6日発行
昭和30年西暦1955年

内外タイムス
THE NAIGAI TIMES

発行所 内外タイムス社
東京都中央区銀座3の5
電話 代表 京橋(56)8646
(直通)販売(〃)0437 広告(〃)3995
編集局 港区芝田村町5の6
電話 代表 芝(43)1163
振替 貯金口座 東京170071

第3180号 (昭和24年6月27日第三種郵便物認可・昭和24年5月27日国鉄特別扱承認第232号)
(中華郵政台字第637號執照登記為第2類新聞紙類・内政内警台誌字第0136号)

あすの暦 8月7日・日 旧6月20日 月齢18.6 日出4.53 日入6.41 月出前8.15 月入後8.03 満潮前6.55 後7.35 干潮前1.05 後1.20（中潮）

天気予報
今晩 南のち北の風、北部は曇後雨、南部は晴れたり曇ったりところにより俄雨。
明日 北東の風日中南の風晴時々曇、夕方俄雨、北部雷雨多い。

高らかに『平和宣言』
廣島で原爆十周年記念式

【広島発】原爆第一号の投下十周年の六日、惨禍の思い出も生ま生ましい原爆の街広島市では午前八時から市主催の原爆死没者慰霊をかねた平和記念式典が平和記念公園の慰霊碑前で行われ、全国から訪れた遺族、一般市民など五万余名が犠牲者の霊を弔った。ついでこの日世界各国で行われた原爆十周年記念行事のメイン・エベント「原爆禁止世界大会」＝八・六大会＝が同十時から同公園内の広島公会堂で三日間にわたる会議の幕を開き、アメリカ、イタリア、インドなど八ヵ国の代表二十一名をはじめ全国の労組、婦人、宗教団体などの代表約二千名、一般市民約三千名が参加した。この日広島は全市に平和への祈りが満ちていた。

平和記念式典

記念行事の口火を切る平和記念式典は六日午前八時平和記念公園で開会した。まず渡辺忠雄市長が新しく判った死亡者五百二十三柱の過去帳を「やすらかに眠ってください」ときざまれた碑の石箱に奉納、首相、衆参両院議長、知事などの花輪が供された。ついで渡辺広島市長が「広島の悲劇を再び繰返すな」と平和宣言を発表。五百羽の鳩が放たれて式場上空を舞った。午前八時十五分原爆破裂の瞬間を知らせるサイレンと鐘の音が全市に響きわたり、会場の聴衆も全市民も一分間の黙祷をささげ、五万九千柱の原爆犠牲者の霊に祈った。最後に鳩山首相、益谷衆院、河井参院両議長らからのメッセージの紹介があって同八時半式を終った。

渡辺市長「平和宣言」要旨 広島市原爆被災十周年を迎えわれわれは厳かに原爆被爆者の諸霊を弔うとともに世界平和への悲願と決意を世界に向って訴えるものである。六千人の原爆傷害者はいまなお必要な医療も満足に受けることができず、生活苦と闘い続けており、さらに九万八千人にのぼる被爆生存者は絶えず原爆傷害病の不安にさらされている。人体を徐々にむしばむ放射能には人類の健全な社会を崩解にみちびく危険性が存在していることをわれわれはとくに指摘する。原爆を体験したわれわれは世界の人々がこの悲惨事を地球上の微小な一点に起ったこととして等閑にふしているかにみえるのを座視するにしのびない。真実の世界平和が恒久的に打建てられるのをみるまではわれわれは全世界の人々にこの真実を伝えることを大きな義務と考え「広島の悲劇を再び繰返すな」と呼び続けるものである。われわれは世界の恒久平和を目ざし、民主主義にもとづく文化国家の建設を国是と定め、着々その実現に邁進してきた。広島市民が苦難にみちた過去の陰影を払拭し力強く平和的建設の業を進めている姿はわが国の平和的、文化的国家としての成長を象徴するものと感じ市民各位のご努力に対し心から敬意を表する。本日の式典にあたり謹んで原爆死没者各位のご冥福を祈るとともにわが国民の国際平和確立への悲願を世界に宣言したい。

広島市中島平和公園の記念式典会場を埋める参列者（電送）

原水爆禁止世界大会

午前十時、広島公会堂で開かれた原水爆禁止世界大会は国際友和会日本支部幹事野宮初枝女史の大会宣言で始まった。風見章代議士（左社）評論家中野好夫、浜井信三前広島市長、地域婦人団体連合会会長山高しげり、藤田藤太郎総評議長の五氏を議長団に選び、渡辺広島市長の歓迎の辞のあと二十一名の外国代表を紹介した。ついて原水爆禁止運動全国協議会事務局長安井郁法大教授が立って、日本を中心に各国の原水爆禁止運動の状況を報告、「日本における原水爆禁止の署名数はさる三日に待望の三千万を突破、全世界の署名総数は六億をこえている。八・六大会を契機として、このたくましい気運をさらに発展させ、原水爆のない世界平和の樹立に進みたい」と会場の空気を盛上げ拍手を浴びた。このあと鳩山首相、東久邇元首相、湯川秀樹博士および米、英、仏など十数ヵ国の平和団体から寄せられた約三十通のメッセージを紹介、午前の日程を終った。
午後は外国代表のあいさつについで平野義太郎中国研究所長、武谷三男立大教授、草野信男東大助教授らが、原水爆禁止のための国際協力の方針、原水爆の破壊力、広島原爆の惨禍などについて報告を行う。

鳩山首相メッセージ あの悲惨な原子爆弾が当地に投下されてからすでに十年の歳月をけみした。

主な参加者 国際婦人平和連盟理事オルムステッド夫妻、メソジスト教会牧師K・パトリシア（以上アメリカ）世界民主青年連盟委員バハルデイン（インドネシア）世界平和評議会委員フオジリアレシ（伊）セイロン宗教連盟代表ナナヨハラ（セイロン）シドニー平和委員会議長ウィリアム・コラム（豪）マライ宗教相サチアンドラ（マライ）インド下院議員イラ・パルチアウドリ夫人（インド）在日朝鮮人連合代表柳宗黙（北鮮）
大会の諸会議の日程つぎのとおり
△広島会議＝第二日（七日）広島市公会堂、平和記念館ホールなど六分科会場で原爆被害者との懇談会、原水爆の被害の報告、禁止運動の対策、運動方針の討議。第三日（八日）市公会堂で分科会討議内容の報告、宣言決議の採択、閉会式。
△大阪会議＝十三日中之島公会堂
△東京会議＝十五日両国の国際スタジアムの世界平和大集会に合流。

29日から三日間
外相の訪米日程決る
園田次官も近く英国へ

外務省は六日午前、重光外相の渡米について次のように発表した。
重光外務大臣は米国政府の招請に応じ、ダレス国務長官をはじめ米国政府当局者と、日米間の諸問題に関し討議を行うため来る八月二十九日から三十一日までの三日間ワシントンを訪問する。今回の訪米にさいしては日米関係の現段階について忌憚なき意見の交換を行うとともに、最近の国際情勢をもあわせ検討し、もって両国間の理解と協調をさらに増進することを期待している。
園田外務政務次官は重光外相の特命をおびてパキスタン、インド、東南アジア各国訪問およびロンドンの松本全権と会談のため十四、五日ごろ出発する。同政務次官は二十三日に予定される日ソ交渉第十二回会談までにロンドンに到着、今後の方針および国内世論の動向について松本全権に伝達するとともに、同全権と十分な意見交換を行う。園田次官はその後米国に向いワシントンで重光外相と落合ってその結果を報告することになっている。ソ連担当の法眼欧米局第六課長が随行する予定である。

はやりすたり この十年 ②
離婚
話題にぎわす斜陽族
圧巻は老いらく組や白亜の恋

○…戦後の流行の一つに離婚問題がある。ついた離れたはアメリカあたりでは珍らしくないが、戦前の日本ではたしかに少かった。全国の家庭裁判所が一年間に受付けた家庭のイザコザは戦前の二、三万件に対して戦後の二十二年には七万九千五百五十一件となり、二十四年には八万二千五百七十五件とウナギ上りの大繁昌。世間の話題に上ったものだけでも二十三年には元首相公爵近衛文麿氏の令嬢昭子さんが、夫君島津忠秀氏と子供をおいて街の一アンマ師のもとに走って、斜陽華族の離婚第一号として話題をにぎわした。五摂家の一つに数えられ、名門中の名門近衛公の長女に生れた昭子さんは、旧薩摩藩主島津家三十代の当主忠重氏の嫡男忠秀氏の令夫人だったが、文学や音楽を趣味とする昭子夫人に対し、忠秀氏は水産動物学研究の学徒で、しかも島津家は極めて封建的な家風だった。世間はこの離婚を"現代版人形の家"とみたが、ノラである昭子夫人は自由を求めて街の一療術師野口晴哉氏と将来を誓う仲となり、遂に野口氏の妻きみ子さんと同じ屋根の下で三角関係の同棲生活を営むことになった。いたゝまれなくなったきみ子夫人は野口氏と離婚し、昭子さんも島津氏と正式に離婚して野口氏とのスイートホームに入った。あれから七年、野口夫妻は三人の愛児とともに今も幸福に暮している。

上 桃山佳子さん
下 戸田華子夫人

○…同年暮には歌人川田順氏の"老いらくの恋"が世間の耳目をあつめた。越えて二十四年には松谷天光光女史と園田直代議士（現外務政務次官）が"白亜の殿堂の恋"を演じた末"厳粛なる事実"で園田氏は前妻と別れ女史と結婚した。この滔々たる離婚の風潮はついに"菊のカーテン"の中にも流行し、二十六年五月には王皇族李鍵公改め桃山虔一氏と佳子夫人が皇族協議離婚の第一号となった。また華頂博信（元伏見宮）と華子夫人（元閑院宮）が離婚したのもこの年で、華子夫人は愛人の実業家戸田豊太郎氏と再婚した。

○…離婚など珍しくない映画界では轟夕起子がマキノ雅弘氏と別れて島耕二監督のもとに走り、山田五十鈴が何度目かの離婚で話題をにぎわしたのもつい二、三年前のことである。また女流作家平林たい子女史が評論家小堀甚二氏との二十八年間にわたる夫婦生活にピリオドをうったのも耳新しい。

○…破鏡まで行かないが"零号夫人"や"二人妻"の三角関係も戦後の流行の一つであった。まず二十三年六月には人気作家太宰治氏が妻子を残して愛人の山崎富栄さんと玉川上水に身を投げ人生に"グッド・バイ"し、二十八年には"零号夫人"厩本万里子さんが妻子のある愛人居村彌太郎氏を殺した。このような零号夫人や二号さんは枚挙にいとまがないのでこの位にする。

○…この戦後の流行病離婚問題について家庭裁判所上席調査官小峰三千男氏はこう説明している。終戦直後は戦時中の疎開先のイザコザから、次いでインフレ時代の家庭経済の破綻からくるのが多かった。このほかソ連、中共からの引揚げに絡む離婚問題も戦後の一つの特徴だが、夫の方は外地で長く一人で生活してきただけに案外別れ話もスラスラ運ぶ。離婚流行の間接的な原因はなんといっても戦後婦人が解放され、今までおしつぶされていた婦人の自由を求める心理が頭をもたげてきたことです。最近の特徴は日本人一般がノイローゼになっているため神経衰弱的な相談が案外多いですね。相談にくるのは男より女の方が多いが、夫が競輪やパチンコにこっているためというのが非常に多い。都会と農村では農村の方が圧倒的に離婚が多いのは農村が次第にその封建性から抜け出しているといえるかも知れない。（M）

上 山田五十鈴さん
中 轟夕起子さん
下 松谷天光光女史

粋人酔事

鼓村の怪談

田辺禎一

明治末期から大正へかけての邦楽界の快男子、鈴木鼓村は怪談ばなしの名人であった。
怪談ばなしというものは、筋道をただせば存外つまらないものなのだが、その話し方の巧妙さによって、面白くなるのであって、ゼスチュアが大いに効果をよぶものだ。鼓村の怪談ばなしもそれで、私が文章に書いてしまうと、それほどの面白味がなくなってしまうかも知れない。
鈴木鼓村は新箏曲の先覚者で、親友の高安月郊、薄田泣菫、北原白秋、与謝野晶子女史などの新体詩を、ロマンチックな美しい作曲で世にひろめた人で、二十余貫の巨軀をもち、かつて砲兵伍長として日清戦役に従軍した。兵隊ぶしとして知られている「道は六百八十里」のふし（原作は軍楽長永井建子氏であるが、それは複雑な難かしい曲である）を世にひろめた。
その戦役中、鼓村が一隊を率いて威海衛の砲台に向って進軍中の出来事である。砲兵隊のこととて、歩兵隊の後方から少し遅れて、一日々々と泊りを重ねつゝ威海衛に向って進みつゝあった、或る夜。戦火に半ば破壊された寂しい田舎の一軒家に宿泊することになった。鼓村は旅順の戦功によって、その頃は伍長から少尉に昇進していたので、部下の兵隊は屋外で野営し、鼓村少尉だけは、その半ば破壊された室内で眠った。
中国の田舎家の室は、平素でも寂しく陰気なものであるが、その時は戦火によって半ば破壊されているので、その陰気なことはたとえようもない。
鼓村は豪快な男だから、そんなことは構わずに、翌日の戦いのことを考えながら、眠ってしまった。夜半と覚しき頃、冷たい風が頬をなで、ゆり起されるような気がして、フト眼がさめた。
もとより燈火もない夜半のことである。室内は真暗であるのに、その室の隅に、一人の若い中国の女の子が、うずくまって顔を伏せ、シクシクと泣いているのが、まぼろしのように見えている。上半身は真白だが、腰から下は血のように赤く見えた。
鼓村は思わず「誰かッ」と一喝すると、そのまぼろしは、そのまゝ消えてしまった。鼓村は無気味に感じ、そのまゝ屋外に出て、部下の兵士の寝ている野営の方に行き、夜の明けるのを待って、その室内を隅なく調べて見たところ、昨夜女が泣いていたと思われる場所に、破れて血のついた女のパンツが落ちていた。たぶん前衛の兵士が、逃げ遅れたこの家の女の子に暴行を働き、女は死んだものと思ったそうだ。
鼓村は非常な熱情家で、若い時福井市で中学教師をしながら琴をやっていたことがある。その時に一人の若い女の弟子があったが、その女はかつて福井で失恋をした舞妓によく似ていたので、彼はその女弟子を猛烈に愛しはじめ、その女もまた鼓村をにくからず思って、関係を結んでしまった。その女との関係が、他の弟子達の間に知られるようになると、弟子も追い／＼と減っていって、稽古所も寂しくなり、ことに夜などはその女のほかは、殆んど誰も来なくなった。
間もなくその女は病気になり、入院することになった。鼓村は毎日、病室に訪ねて行ったが、彼女の病気は重くなるばかりである。
或る夜のことである。鼓村は作曲のために遅くまで書斎でひとり曲を案じていた。床の間には愛用の琴が一面立てかけてあった。夜中の二時近くのことである。床の間に立ててあった琴の第七絃（中央の絃）が、細く長いうなり声を立てゝ響きはじめた。オヤと思って、鼓村は作曲の手をやめて、その響きに耳を立てると蚊のなくような細い響き声は、かつて彼女が鼓村の愛撫の最中に、感極まって遠慮勝ちにかすかにもらす泣き声とソックリである。鼓村はこれを聞いて胸が掻きむしられるような気持ちがしていると、やがてポツンとその絃は切れてしまった。
鼓村は心配をして翌朝早くに、病院を訪れると、彼女は昨夜半に死んだという。息を引きとった時刻は、ちょうど琴の絃の切れた時刻と同じであったそうである。

東京株式仲値
□新株落△配当落（6日終値）

銘柄	値	銘柄	値	銘柄	値	銘柄	値
特定第		信越化	82	倉レ	102	小西六	120
東海上	263	東高圧	132	旭化成	353	カボン	44
郵船	62	昭電工	91	山陽パ	110	三井物	141
新三菱	86	日本曹	85	日本パ	106	第一物	103
日清紡	263	旭電化	73	国策パ	114	白木屋	230
味の素	276	三菱造	91	東北パ	130	高島屋	90
三越	266	三井造	120	大東紡	102	日活	68
三菱地	487	三菱重	66	商船	46	松竹	201
平和不	181	石川重	93	三井船	51	東宝	1295
三井金	113	[illegible]工	121	飯野海	48	大映	175
三菱金	92	東洋ベ	106	西武	358	日本粉	139
日鉱	89	日立造	53	藤田興	218	日清粉	169
住友金	97	浦賀	52	東京ガ	71	日本ビ	164
三菱鉱	45	日平	19	東電	512	朝日ビ	182
古河鉱	64	古河電	71	日銀	1895	キリン	200
同和鉱	121	日立製	75	東銀	59	宝酒造	101
住友炭	55	東芝	75	三井銀	70	台糖	251
三井山	59	三菱電	88	富士銀	88	明糖	128
北海炭	54	小松	56	日証金	91	[illegible]糖	131
東邦亜	69	日本光	135	安田火	116	野田醤	193
帝石	77	キヤノ	148	大正海	100	森永	283
日石	104	東京光	34	住友海	91	明乳	183
昭和石	108	東洋紡	144	千代田	77	日水産	87
東燃	123	鐘紡	122	鋼管	78	昭和産	102
三菱石	126	富士紡	114	日製鋼	69	東洋罐	73
大協石	123	大日紡	85	八幡鉄	57	合同酒	121
日東化	82	日東紡	58	富士鉄	52	三楽	101
日産化	77	片倉	34	神戸鋼	58	大阪糖	167
三菱化	95	東邦レ	101	日特鋼	118	王子紙	220
三井化	117	帝麻	49	日軽金	189	十条紙	235
協和醗	112	中絹	50	日金工	60	本州紙	91
東合成	122	帝人	141	日セメ	140	三菱紙	92
三共薬	149	東洋レ	179	磐城セ	243	北越紙	62
		三菱レ	133	小野田	83	三井不	790
				横浜ゴ	157	三井倉	74
				旭硝子	149	渋沢倉	75
				富士写	136	東洋埠	—

市況 整理安商状

休日を控えて大証券も模様眺めに見送っているので地合は浅分低調化し、全般の市況はもみ合いのうちにも小甘の整理安の動きをたどった。特定株は商内閑散のうちにも郵船が大和買に小締ったほかはほとんど一ー三円安と気重く、雑株も出遅れの製粉株が買われて小確りの他は白木屋、日東硫曹、神崎紙などが反発的に十円内外高を示した程度で、全般は小口の利食売りに押されて先駆株中心に小甘い成行をたどった。

日ソ交渉と保守結集
農相 外遊前に首相と協議

【軽井沢発】河野農相は六日午前九時二十分、静養中の鳩山首相を軽井沢の別荘に訪ね、外遊の挨拶をしたのち、日ソ交渉について首相の真意をただし、首相の意向を農相から直接松本全権に伝えることになった。また農相は今月末欧州から米国に向い、重光外相と落合う予定であり、米国側が日本政局の見通しについて強い関心を示しているので、日本の政治情勢を米国側に説明するため、保守結集の今後の進め方および政局安定方策についても意見を交換した。

内外抄

ピカドンのピカリが世界平和のヒカリにとの祈り、何といおうとわが国民は平和主義の選手。
◇
首相の「軽井沢談話」を民、自ともに黙殺にかゝる。口が軽井沢としゃれてもすまされぬ問題。
◇
政府声明を出させるほど重大化した航空基地拡張の問題「家庭の事情」知らぬではないそうな。
◇
地元が「条件闘争」へ傾いてきたのは結構。政府に背骨はなくとも背に腹は替えられぬのでね。
◇
日米水上、古川の世界新記録が出るやら出足は大好調。景気よくあがるシブキの涼しさよ。

政界春秋
着眼点を飛躍せよ
木村儀兵衛

国会幕切れは多くの後味の悪いものを残した。政府・与党は国防法案、憲法、砂糖問題だけは通過させたかった。せめて継続審議に持ち込みたかったが、みずからの拙劣と、自由、両社党にほんろうされて、ことごとく潰した。
河野一郎は、岸信介、三木武吉、一万田尚登に噛みついた。河野は「オレは連絡閣僚じゃないか、一言のアイサツもなく、砂糖をすてて、国防法を採ろうとするのは何事か、一万田も二た口目には金がない、進退を賭すようなことをいいながら、砂糖をすてれば財政投融資に七十億のアナがあく。自由党にしたところで、オレが熱心な保守合同論者であることを知っておろう。将来同志となるべき者なのだ。同志的信頼感がどこにあるか、両党首脳に予算を通す注文まで交わしてある。相手がそういう考えなら保守合同に反対してやる。少くとも今後は批判的になるゾ」と。河野のいうことも一理はある。一理はあっても、この上の強引さは考えものだろう。力一つでは限界が来て行き詰るからだ。
横浜の演説会で合同に水をブッかけた。だが河野も眼先は見えるから、二日の閣議で「政局担当の意思あり、合同は慎重に見送る申合せをしよう」と気負い立つ五、六の閣僚を押え「それほどにも及ぶまい」と軽くいなし、岸や三木には"旅行して頭を冷し、考え直して見よう"ともいい、それ以上の動きも見せない。要するに向ッ腹を立てながらマッチと火消しポンプで両用使い分けをやっているのだ。
鳩山首相は七色の唐辛子のように、年中変っている。淡々水の如しというかと思えば、合同は慎重に、政権担当の意思あり、来年の議会に臨むともいう。保守同士の精神的結合を待つような口振りだが、半年や一年で百年満足なものができる筈もない。首相、総裁でありながら、金の心配もしないようだし、居心地がよくて、党内反合同派の野心家に便乗、吉田茂のマネでもする積りか。三木の「鳩山だけは淡々とした立派な退きぎわをさせたい」という意向に反し、解散に盲進、政局大混乱か、なぶり殺しに逢うか、何一つ得るところはなかろう。健康が善いの悪いのいうたところで"切れた血管"が復元もしなかろう。民自四者会談、政策、組織委員会は、暖流地帯で、一たび党に帰れば"寒冷前線"が盛んに行き交う。突き詰めれば皆オレの位置はどの辺か、という自己感情の現われればかりだ。何が国家のためなのだ。"どうして着眼点を発展させ得ないのだ、だがモウ弦は切って落された。甲案三百名全部、乙案二百六、七十名、丙案絶対過半数で必ず踏切る段階が近づいたようだ。陰にこもっていた大磯派も、陽動作戦に戦術転換、当分もむとだろう。

青春無宿 (89)
大林清
下高原健二 画

仲たがい（七）

「まァいいわ、そんなことどうだって」
兆子は自分の言葉に自分で答えて、
「あなた今日、ヴァルマンたちと横浜へ行ったんですって？」
と、真顔になった。
「横浜で偶然会ったんだ」
「会ったのは偶然でも、山下町のノワへ行ったでしょう」
「どうして知っている」
横浜からの帰りをヴァルマンたちが寄ったのは、次郎がとうに知っている兆子の大森のアジトだったが、そのドアには鍵が下ろされたままで、兆子はいなかった。ほかに思いあたるところがあるからといって、ヴァルマンはなおも同行することを誘ったが、次郎は時間のおそくなるのを理由にして、新橋付近で彼等と別れてしまった。
「あたしが赤坂のナイト・クラブにいたら、そこへあの連中がやって来たの。あなたとう／＼あの連中の用心棒になったのね」
兆子はわざとらしく軽べつをこめた調子でいった。横浜での出来ごとの一切を、ヴァルマンたちから聞いたにちがいない。
次郎はだまっていた。今更何といったところで、ヴァルマンたちのために、用心棒の役割を果したことは否めなかった。
「伯爵の御曹司も落ちぶれたもんね、密輸団の手先になるなんて」
「密輸団？」
次郎は、はじかれたようにきいた。
「そうよ、ヴェトナム政府のもと大官だなんて、嘘の皮よ。上海、神戸、横浜を股にかける国際密輸団の一味だわ」
兆子はそういい切ってから、ふとあたりを見まわして、
「あんまり大きな声じゃ話せないから、あなたのお部屋へ行きましょう」
と、いったん履いていた靴を脱ぎ捨て、次郎がとめるひまもなく廊下へあがって行くのだ。
仕方なくそのあとへつづいた次郎を、兆子はその部屋の前で待っていた。
「ふふゝ、ずいぶんご迷惑そうな顔ね。大丈夫よ、話すだけのことを話したらおみこしあげるから」
鍵をあけるために、戸口へ近づいた次郎の鼻先へ、プーンと洋酒がにおった。
「へえ、これが日本広告研究所？学生さんの下宿みたいじゃないの」
兆子は室内を見まわしてから、重いからだを支えかねるような格好で、畳の上へ膝をくずした。
「あの連中が密輸団だということまちがいないんだね」
次郎も朧ろ気ながらそれは感じていた。横浜を舞台にしているらしいことで、密輸に関係のあるところまでは想像がついていたのだが、兆子がいう国際密輸団というほどの組織を、背景としては考えなかった。
「あたくしにも、やっとわかったばかりなの、だって今夜ヴァルマンが自分の口でいったんですもの。ヴァルマンだのソロジェムだの、あの四人は、大がかりな国際密輸団の裏切り者なのよ」
「裏切り者というと？」
次郎も好奇心をそそられた。

続 情炎の千代田城 (200)

岩崎栄　寺本忠雄画

天下の鈴（五）

岩槻修理と名乗った男は、しかし、わりとアッサリ自分の部屋に引揚げた。

お梨花はずいぶん酔っていたが、男が去ると急にドッと眠気に襲われ、女中が床をのべるのを待ちかねて横になると、前後も知らず寝入ってしまった。それでも、密書の包を枕にすることだけは忘れなかった。

一ときの熟睡から、しだいに眠りが浅くなると一枕に響く波の音をうつゝに聞いたりしているうちに、船で伊豆かどこかに航海している夢を見だした。船はきれいな屋形船で、誰かと酒を飲んでいるのだった。相手は誰かわからぬ。若い町人みたいでもあったが、ひょっと見ると、中年の武士でもある。

その男が、みだらなことといいながら、首を抱き寄せて、含み酒を……と耳を噛む。

「あんたは一たい誰なのさ。あたしゃ酔って、顔に霞がかかっているようで、ハッキリおまえの顔がわからない」

「じゃァ、顔のところを、こう脱ぎすてて、おい、バアーッ」

「おや！　おまえはまァ、開吟亭の木人さん」

「しばらくだったな」

「逢いたかった。あたしゃ逢いたかったんですよう」

自分の方から狂気のようにムシャブリ付き、抱きしめ、抱きしめして、口や鼻を犬みたいに咬みついたり、吸ったり舐めたりして、

「ほんとに、あなたという人は、薄情で一親切で一邪険で、実があって、憎らしい女ごろしだよッ」

「まァいゝからよ、おとなしく抱かれてくれ、これも前世の因縁だよ」

「うれしいッ」

フッと眼が醒めた。うれしさの絶頂で夢が破れたのだ。

もう、どうにもなるものではなかった。さすがにお梨花だ。世間なみの女みたいに慌てゝ悪あがきしたり、騒いで取り乱したりはしない。

「憎いねえ、お前さんて人は」

立膝で、おくれ毛を掻き上げながら、寝ている男の顔を尻目にジロリ、ジロリ……。

男は岩槻修理だった。

「早速だよ。この、女ドロボウ」

「おこるものか。ちょいと味な夢を見ていたら、夢に実が入り過ぎたまでさ。これからも京までの長い旅寝だ。ときたま夜伽をたのみますよ」

「あたりまえだ」

「ふん、うぬぼれないでおくれ。惚れてこうなったんじゃござんせんからね」

「ふゝゝ、まア、どっちだっていいさ」

お梨花は帯しろ解けのまゝ、スッと起き上った。男を男とも思っていないようなふるまいだ。それでも、女のことばで、

「お手水に行って来ますからね」

「たいせつな、これを置いて行くのか」

例の密書の包を、指のさきでポンと弾く。

「おまえさんという番犬がいるじゃ……」

「フンだ。逃げられるものなら、みごとにやってごらん」

「わかった。士は己を知るもののために死すだ。偉い女もいたものだなァ」

「おまえさんも偉いよ。あたしを女と見抜いて夜這いした眼力はね。フゝゝ」

売れっ子芸能人の悲劇

舞台復帰を危ぶまる　浪曲の鈴木照子　過労の末ノイローゼで

「沓掛時次郎」や「瞼の母」などに美声と名調子の冴えをみせ、若手女流浪曲の王座を誇っていた鈴木照子(二九)が舞台から姿を消して久しい。ところが休演の原因は、義理人情の世界に生きる浪曲家としては皮肉にも現代流行病といわれるノイローゼ（不安神経症）に悩むためと判明。近親者は一日も早く彼女の舞台復帰を希っているが、本人はまだその気持がなく、一部には再起不能になるのではないかとの噂も飛んでいる。【写真は鈴木照子】

照子は九歳のとき浅草公会堂で初舞台を踏んで以来、先代港家小柳丸と父親の浪花蔭峰の薫陶を受けて早くも天才少女の名を得た。十二歳でコロムビアの専属になり「生きる悲哀」や「乃木将軍と孝行辻占売り」などで評判をとり、成長するにしたがい人気が上る一方で、戦後に至るまで文字通り二十代浪曲家中の女王の名をほしいままにした。それが二十六年四月「病気のため」という理由で休演舞台から姿を消してしまった。その後いったん快復して一昨年六月から半年近く舞台に戻ったが、やはり思わしくないため更に休演を続けて現在に至っている。

だが彼女の病気は軽度の胸部疾患とだけ伝わるだけで詳細は判らなかった。ところが彼女は、実はノイローゼなる流行の文明病にかゝっていたのだ。それも、舞台にでると神経がたかぶり物忘れして、ひどい時には肝心の演題さえ忘れるという状態で、また不安で堪らないという「舞台恐怖症」ともいうべき厄介な病気だった。それまで明朗だった性格もガラリと一変して無口な人嫌いになり、ごく親しい知人たちにすら会うのを避けるようになった。家人（兄の渉氏及び姉ふみ子さんと広沢虎之助夫妻）ともひと口も聞かずムッツリ物思いにふけっていることが多くなった。この原因について医師と家人は、天才少女として騒がれ過ぎたため疲労していても休むことができず、それも興行の関係で東京だけではなく南は九州、北は北海道と絶えず不定期な仕事が続いたりして過労が重なったところから、神経障害を起したのではないかとみている。そんなことで彼女が希望するまゝ二カ年休演したが外見は健康そうにみえるため周囲が放っておかず、一昨年四月再び放送や舞台にでるようになった。だが、やはり経過は面白くなく、大きな精神的打撃を受けたまま再び休演したわけだ。

現在、彼女は埼玉県深谷市にある亡母の実家に静養中だが、目下舞台に帰ろうという意思は持っておらず、再起が心配されている。だが実兄の鈴木渉氏（浪花興行社支配人）は「なんとか再起させたい。あと半年か一年で経過もよくなると思う。私としては照子が一日も早く、舞台にでたいといいだすのを心待ちしている」と語っており、女流浪界で双璧とうたわれた親友の天津羽衣なども再起の日を願っているが、一部の浪曲関係者は彼女の復帰はむずかしいとみており、また仮りに復帰したところで、以前と違い人気者の若手が多数進出して客観状勢も変っている現在、よほど勉強しなければかつての人気を取戻すのは不可能だといっている。いずれにせよ彼女の悲劇は、人気に追われとかく心身を酷使しがちな芸能人たちにとって、一つの警鐘とはなっているようだ。

山本富士子が放送初出演　NHKの連続ドラマ「お千代鑿」に

山本富士子が七日から約一カ月間放送されるNHKの連続ドラマに初出演することになった。土師清二原作、穂積繁脚色の「女大工とお千代」がそれで七日から連続四回にわたり「物語劇場」（午後二時）の時間に放送される「鑿」が、この作品は原名を「お千代鑿」といい、江戸時代を背景に、お家騒動に巻きこまれた若く美しい女大工の波瀾万丈の恋物語を描いたもの。語り手は一竜斎貞花、ヒロインのお千代に山本富士子が扮し、このほか沢村宗之助らが出演する。【写真は山本富士子】

(小)(麦)(色)(の)(肌)　アッペ・レーンの艶姿

○…先だってアメリカはカリフォルニアのさる谷間で、裸体主義者のキャンプを軽飛行機に乗ってのぞきに来た二人の男が、クラ〳〵と眼が眩んでアメリカ版「久米の仙人」よろしく墜落したとか…。やれ〳〵ですな。こゝなご婦人は日本でもお馴染みのザビア・クガート夫人で歌手兼女優のアッペ・レーン。

○…少々どこか南国の血の入ってそうな女で、とかく罪作りの太腿のあたりも、色浅黒く小麦色というところ。ヌケるように白くとも、あるいはテラ〳〵と挑発的に黒くとも、何れにせよ婦人の腿は強烈なセックス・アッピールをそゝるもの。ましてお仕込みのよさそうなミセスにおいておやです。

○…彼女、目下ユニバーサルの飛出す立体映画で"冒険活劇とロマンスの巨篇"と銘うった「隼の翼」にヴァン・ヘフリン、ジュリア・アダムスらとともに彼女はメキシコの情熱的な女房役で出演中です。【写真はNANA特約】

新人山脈　渡辺美佐子（新劇）

俳優座の三期生。昨年新人会結成とともに入って、本年三月の第二回公演「家庭教師」から出演、先だっての研究公演「壁画」では主役の巫女ラチヤを演じた。千田是也が「君は岸田国士とか森本薫とかのサラ〳〵した雰囲気劇には向いてんだけどね」といった。賞めたんじゃない。目下はガラに合う役程度しかやれないよということなのだ。「そうね、優等生芝居っていうのかしら。どこか間が抜けてるとか、素っ頓狂なところがあるといゝんですけど…」品行方正成績優良は彼女ばかりでない。俳優座系統の若い女優さんにとかく見られる美点でもあり、突き破った方がよさそうな壁でもある。"サラサラ"しているし、美人だし、本もよく読んでるから、話してる分には大変気分がよく時間の経つのも忘れさせるが、舞台女優にしてはもちっとアクが欲しいところ。現住所＝中野区鷺宮二の七五一

メイコの第三作　十一、二月頃製作

松竹映画「ママ横を向いてて」（堀内真直）に主演した中村メイコは同映画の不評から一時は映画出演を一切断念しようとしたが、第二回出演作品「花嫁はどこにいる」（監督野村芳太郎）が好評なところから、松竹ではメイコ主演の第三作を企画し、十一月か十二月頃公開を目標に映画製作の準備をすすめることに了解を得た。

都々逸　小沢蘭太郎選

氷枕をするほど熱があってのろけが出るゆとり　円山・志ば由

貴方とわたしは高嶺の雪か夏が来たとて解けぬ仲　世田谷・暦

三を下げれば調子に乗って粋な貴方の節回し　木場・猿谷三千懸

一度は浮名に追われた元の土地が懐しく二度の棲　南千住・松永志ん

こんな空地へ綺麗な月のかけらが落ちてた水溜り　長岡・鈴木六可備

◇

化けて出そうな柳があって罪の深さを知る夜更け　選者

土曜サロン　日本の男性アメリカの男性　ペギー葉山

こう大上段にかまえた題をつけてみたものの、いざ書くとなると少々気がひける。なぜかといえば、正直にいって私が観察し、そこから何ものかを感じたアメリカの男性というのは、お巡りさんにタクシーの運ちゃん位なものだからである。その上もしも私がアメリカの男性をほめたりすれば、きっと「ペギーの奴、アメリカに行ってイカレて来たナ」なんていわれちゃう恐れがあるし、「日本の男性がやっぱり一番だ」などと日本オノコを絶讃すると、こんどは「そうれみろ、オレたちが何んてったって！」とハナの下を長くしてウヌボレられる恐れもある。

それに四カ月間もアメリカに男性研究に行ったわけじゃなし、まあ、こんな風に予防線を張っておいてと…。

さて、たゞ「男性」といったんでは漠然とし過ぎるから、具体的な例を上げると、先ず警官すなわちお巡りさんであるが、日本のお巡りさんはアチラに比べて愛嬌がなさすぎる。（もっともお巡りさんが年中ニヤ〳〵してたら泥ボーさんがオンの字だっていうかしら）でもアメリカのお巡りさんはとにかく女性や老人に対する心遣いの点で、ダンチに優しいのである。私もたび〳〵厄介になり（といっても別に悪いことをしたんじゃないから誤解なく）いたわられたんだけど、例えば道を聞いてもつねに恐縮するほど丹念に教えてくれて、その間ニコ〳〵と微笑をたゝえている。ところがこちらでは、ブスッとしてオッかなくてモノがいえないようなお巡りさんがいる。けれども考えてみると、サラリーの点、生活水準の高い点でもダンチであるから、そこから生れる心のユトリということも愛嬌のよさ悪さに関係しているのかもしれない。

次にタクシーの運ちゃんであるーこれがまたそのサービスぶりで日本とはだいぶ違う。目的地へ着くと運ちゃんが先ず降りてお客のドアを開け、それからお金を貰うのである。座ったまゝで後を向いておつりをくれたり「細かいのありませんから」とお釣りの分をイタダイちまおうなんて不心得なのは絶対にいない。

初めに断わった様に、お巡りさんと運ちゃんからみたアメリカの男性観であるが、これを以てしても、総体にアチラの殿方は女性には大変親切で優しいということになるが「チクショー、やっぱりイカレて来てんじゃねえか」などとイキリ立つのは待って下さい。

アチラへ行くと、日本の生活習慣の中で育って来た私たちには、そうした親切さが、これまたアチラの単なる習慣で、果して心からのものかしらと疑う気持になることもあり、日本のオノコの、ちょっとツンとした冷たさが恋しく思われることもしばしばだった。もちろん私は女性の一人として、男性から親切にして戴きたいけれど、かといって日本の殿方がアチラの真似をして、ナメるように女性を大事にしてくれるのも感心しない。日本の男性には、男性としての誇りある態度は持って戴きたいと思うのである。日本に帰ってきて、お友だちから「ペギー、アメリカよかっただろ、男が親切でハンサムでさ」といわれたときに、私の答えた言葉はこうだった。「ウン、よかったわ。でも日本の男性は何といってもいゝわよ。第一日本語が通じるもん」

映画やぶにらみ　豪勢な歌と踊り　わが心に君深く（メトロ）

▽…ライト・オペラ「皇太子の初恋」「砂漠の歌」などの作曲家シグマンド・ロンバーグの伝記映画。ニューヨークのカフェーでピアノを弾いていた彼が、友人達の温い協力でアメリカ随一の人気作曲家にのしあがり、数々の歌曲、オペレッタをものする物語。「掠奪された七人の花嫁」でミュージカル映画に手腕を示したスタンリー・ドネンの演出。

▽…ロンバーグにはホセ・ファーラーが扮している、そして彼がいまゝでの作品とがらりと趣きを異にして歌ったり踊ったりの愛嬌をみせている。それにローズマリー・クルーニー、ジーン・ケリー、アン・ミラー、シド・チャリシー、トニー・マーチン等この世界の人気スターがそれ〴〵踊ったり歌ったりという豪勢なものだから、二時間余の長尺も気軽に楽しんではいられる。特にさきごろ来日したヘレン・トロウベルがカフェーの女主人として登場幾つかの歌曲をきかせたり、ファーラーが「ジャズァ・ジャズァ・ドウ・ドー」を独り芝居で熱演するあたりがみものの他にアン・ミラーが「イット」ジド・チャリシー、ジェームス・ミッチェルが「砂漠の歌」でセックス・アピール満点な素晴しい踊りをみせる。もっともこういう顔見世的なショウ場面を除くと感興も盛上りも至って乏しい作品ではある。（静）

写真はその一場面　右がホセ・ファーラー

スターのいる町　代々木上原界隈（その二）

ラブシーンの実演　見せつけられた久保菜穂子　夏みかんで濡れ衣の轟

こ のあたりは立木が多いから比較的都心に近い割合に空気が澄んでいる。夜になるとあまり人通りもない。そこでこの近くの青年男女は公園や皇居広場にわざわざ遠征しないでも結構ランデブーの場所には事欠かないというものだ。その例外は、専らこの「裏庭の夜の夢」に利用されている。三宅邦子、島崎雪子などの邸宅の三宅邸と島崎邸は番地も同じ一二七七番ならば庭も塀をへだてゝ隣組になっている。この間にはウッソウたる…でもないがとにかく葉ッパの繁った木が植えてある。だから夜になればその路地に立っていたとしてもそう判るものではない。

つい先日も、やはりこの近くに住んでいる新東宝の久保菜穂子が、自動車を降りて家まで二十杯余りを歩いたものだ。もっとも彼女が一人であったか二人だったか、そのへんはきゝもらしたが、とにかく夏の寝静まった夜の路地というものは何となくロマンチックな感じがするものだ。そこで彼女はハイヒールを脱いで裸足になったと思いなさい。つまり彼女は夏の夜のソヨ風にさそわれて、ヒタヒタと冷たい土の感触を楽しんだというわけだ。すると十杯程先に何となく人の気配がする。ギョッとした彼女がすかして見ると、どうもこれが若い二人連れらしい。しかも木立のかげに立止まって寄添った様子はまごうことなきラブシーンだ。彼女が柄にもなく裸足で歩いてみようなどとオセンチな気を出したばっかりに二人連れに気づかれず、かえって遠慮してラブシーンがすむまで立ん坊しちゃったという話である。もっともこれは夜のお話。

昼ともなれば三宅邦子ママが坊やのおテテを引いてこの路地をお買物に歩くし、キャンデー屋がジャラン、ジャランと鐘を鳴らして入ってくる。

さ てそこで近所の八百屋さんにこの土地の話をきいてみよう。「外出される以外はあまり見かけませんがね。島崎さんのお宅では大変お大根がお好きのようで、殆んど毎日欠かしたことはないのですよ」という。つまり島崎は毎日大根オロシやフロフキ大根を食っているらしいのである。それで彼女の足が太いのかもしれない。また八百屋の話といえば、この先の富ケ谷に轟夕起子、島耕二夫妻の家があって、近所の八百屋が毎日彼女の家へ夏ミカンをとゞけたという話だ。一日や二日のことなら別に不思議もないのだが、これが一週間も続くとなると「さては轟が…」と想像もたくましくなるというものだ。しかしこれは彼女がケーキ作りに凝ったための材料だと判って、このスッパイお噂もチョンだったとか。まったくスターともなると続けて同じものも買えませんといった笑えぬ喜劇ではある。【次回は来週土曜日、代々木上原界隈その三】

三宅邦子　島崎雪子　久保菜穂子　轟夕起子

文化放送の中島会長、岸常務辞任撤回

中島文化放送会長ならびに岸常務理事の辞意表明に対し、理事会では中島会長の留任を懇請した結果、中島氏も辞任を撤回した。

おしゃべり横丁

炎暑つゞくコンクールがやれそうだ。—野次馬

新東宝の「次郎物語」で少年を募集

新東宝では「次郎物語」（原作下村湖人、脚本監督清水宏）を八月二十日から撮影開始するが、それに先立ち主役少年をつぎの要領で一般から募集する。▽撮影所に通勤可能なもので六、七歳から十歳まで▽締切八月十日、申込先は新東宝撮影所企画部。

添田唖蝉坊碑　九月十八日に地鎮祭

艶歌師の元祖、添田唖蝉坊の碑を浅草公園に建立する計画が今春来東京作家クラブ（会長戸川貞雄氏）と浅草の会の手で進められていたが、このほど敷地も弁天山北斜面と決定、来る九月十八日に地鎮祭を行うことになった。当日は唖蝉坊の名に因んで「セミ供養」ほか種々の催しがあり、竣工は十一月末の予定。

はと笛

▽…日活映画「青空の仲間」に特別出演している女剣劇の浅香光代、六月の末に本拠地奥山で午前三時までかゝってロケを終ったが、座員一同、裏方までの手当やらロケ隊の接待やらでチョイとした物いりだった。▽…さて封切日の前夜深更、わざわざ浅草日活の前まで看板を見に行ったところ、全然彼女の名が看板に見当らない。「宣伝になると思えばこそ一銭も貰わず身銭を切って出演したのに、この扱いは何さ」とそこは気の強い彼女のこと、ごひいき客の一人児井秀生プロデューサーを介して厳重に申し入れを行った。初日の昼頃には出演者連名の横っちょに、新たに「特別出演浅香光代」と書入れてこの騒ぎめでたくチョンだったが、なんといっても地元の役者だ。もっと肩を入れてやればいゝのに、とは地元の陰の声。【写真は浅香光代】